



MY TOWN MY DOCTOR

115

お住まいの地域に、なんでも相談出来る“かかりつけ医”がいると心強いものです。関東中央病院と診療や検査で連携をとり、地域医療に貢献されている先生方（登録医）をご紹介します。

クローブ世田谷クリニック

院長/笠原 勝彦

〒156-0042 世田谷区羽根木1-31-21

TEL 03-6265-7533

HP <https://www.clove-setagaya.com/>

ドクターズプラザ羽根木3F



井の頭線「東松原駅」徒歩5分、「新代田駅」徒歩8分
京王線「代田橋駅」徒歩9分、「明大前駅」徒歩11分
小田急線「世田谷代田駅」徒歩15分、「梅ヶ丘駅」徒歩16分

診療科目/内科、循環器内科、心臓血管外科、
下肢静脈瘤レーザー日帰り手術

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~13:00	○	○	○	/	○	○	/
14:00~18:00	○	○	○	/	△	/	/

△: 金曜日午後は通常診療もしくは下肢静脈瘤日帰りレーザー手術

休診日: 木曜、土曜午後、日曜、祝日、第4土曜



2023年5月、世田谷区羽根木にクローブ世田谷クリニックをオープンしました。私は2002年、関東中央病院（関中）心臓血管外科開設の要請を当時の杉本恒明院長先生から受け心臓血管外科を立ち上げ、その後21年間、心臓血管外科部長として勤めさせて頂きました。在職中は本当に多くの方にお世話になり心から感謝しています。特に関中は医師、看護師のみならず薬剤部、放射線科、検査科、リハビリ室などメディカルスタッフが優秀で、心臓血管外科の患者さんの治療においては、いつも多くの協力をいただきました。彼らは関中の宝だと思っています。また総務課、医事課、地域医療連携室などの事務スタッフも長く関中で勤めていたこともあり、本当に良い“仲間”と言える存在です。今回も地域医療連携室の皆さんが私のクリニックを訪ねてくれて、ご紹介いただく運びとなりました。

さてクローブ世田谷クリニックですが、羽根木公園にほど近い住宅街にあるビルの3階にあります。クローブ(clove)とはスパイスの丁子(チョウジ)のことで、昔は魔除けや薬に使われていたようです。なぜ名前がクローブなのかと質問をよく受けますが(人によってはグローブと間違えて私が野球好きなんだろうと思っ

ている方もいます…)、家紋に由来しているとだけお伝えしておきましょう。多くの方がお越しになってホットとできる止まり木のようなクリニックでありたいと思い、クリニックのロゴはcloveの文字を木にかたどってデザインしてもらいました。

私は外科専門医、心臓血管外科専門医、循環器専門医、不整脈専門医なので心臓と血管の病を診療の中心としていますが、ホームドクターとしてあらゆる病に対応できるように努力しています。日常の怪我にも対応しています。特徴としてはご来院当日に心臓、頸動脈、足の血管、腹部などあらゆる部位の超音波エコー検査が可能で結果もすぐにご説明できる体制をとっています。足に血管のコブがある下肢静脈瘤の日帰りレーザー手術も行っています。痛みも少なく30分から1時間程度と短時間で終わります。これからも関中には何かとお世話になるかと思うので、今後ともよろしくご願ひ申し上げます。そして、クローブ世田谷クリニックにもお気軽にお越しください。



小川内科・糖尿病クリニック

院長/ 小川 敏郎(小児科)

副院長/ 小川 顕史(内科/糖尿病内科)

〒157-0066 世田谷区成城4-4-17

TEL 03-3482-0710

HP <https://ogawa-naika-tounyoubyou.com/>



小田急線「成城学園前」駅西口下車徒歩約7分
成01、成04、成05「成城二番バス停」より徒歩1分

診療科目/内科、糖尿病内科、小児科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	○	○	○	/	○	○	/
14:00~17:00	○	○	○	/	○	/	/

休診日: 木曜、土曜午後、日曜、祝日

やりがいを感じる時

生活習慣病は、知ることが一番の治療法だと思っています。検査結果の意味や治療方針、将来の展望を説明して、患者さんの理解できた、納得できたという表情を見た時に嬉しくなります。同じ目標を共有できると感じる瞬間にやりがいを感じます。

当院は昭和61年に小川小児科医院として開院いたしました。令和3年に現副院長が診療に加わり、糖尿病や生活習慣病を中心に診療するクリニックを目指して「小川内科・糖尿病クリニック」に名称変更いたしました。現在は院長が小児科を、副院長が内科を主に担当して 広い年齢層の患者さんに受診していただいております。親子三代にわたり当院を受診して下さっているご家族も多く、大変励みになっております。

生活習慣病を治療するために、食生活や運動習慣の修正が必要になることがあります。しかし、慣れ親しんだ習慣を変えることは大きなストレスになりますし、言うのは簡単、できれば避けたいと思ってしまうのは当然のことです。患者さんが今の状況をどう感じ、どのようにしてほしいのかをしっかりと聞いて、笑顔になれる提案ができるクリニックを目指しております。

関東中央病院は診療科が充実しており、患者さんの認知度も高いため安心して紹介することが出来ます。以前、急患を紹介させていただいた際にも迅速に対応して下さい、大変ありがたく思っております。

今後も良い連携が取れるよう、クリニックとしての役割を果たせるよう、精進してまいります。

